

第七十六回帝國議會
院
留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬
鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外二件
委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年一月三十日(木曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 星島 二郎君

理事太田 理一君 理事手代木隆吉君

理事釘本 衛雄君 理事鹽川 正藏君

江原 三郎君 小笠原八十美君

北原阿智之助君 佐藤 啓君

津倉 龜作君 東條 貞君

春名 成章君 福田 悌夫君

松浦周太郎君 村上 元吉君

山崎 釦二君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 小川郷太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 留岡 幸男君

大藏次官 廣瀨 豐作君

大藏書記官 河野 一之君

鐵道次官 鈴木 清秀君

鐵道省監督局長 大山 秀雄君

鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

鐵道省建設局長 倉田 玄二君

鐵道省工務局長 阿曾 均君

鐵道省經理局長 平山 孝君

鐵道省需品局長 堀本 鎌三君

鐵道省工作局長 德永 晋作君

鐵道省電氣局長 魚住 朝治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案(政府提出)

○星島委員長 是ヨリ開會致シマス、昨日ノ委員會ニ於キマシテ、不肖私ガ委員長ニ選バ

レマシタカラ、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス、ソレデハ最初ニ鐵道大臣ヨリ提案ノ御說明ヲ願ヒマス

○小川國務大臣 私カラハ富士身延鐵道及白棚鐵道ノ買收ニ關スル法律案ニ付キマシテ說明ヲ致シタイト存ジマス、後ノ法案ノ方ハ大藏大臣カラ說明ガアルコト存ジマス

此ノ身延鐵道及白棚鐵道ノ買收ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ簡單ニ說明致シマシタガ、尙ホ少シ詳シク申上ゲタイト存ジマス

先ヅ富士身延鐵道デアリマスガ、本鐵道ハ東海道本線ノ富士驛カラ中央本線ノ甲府驛ニ至ル延長八十八「キロ」一分ノ地方鐵道

デアリマス、本鐵道ハ昭和十三年十月以降政府ニ於テ借入經營中ノモノデアリマスガ、

借入後ニ於ケル本鐵道ノ輸送量ハ著シキ増加ヲ示シ、設備ノ改善ガ之ニ伴ヒマセヌ爲ニ、迂回輸送ノ已ムナキ貨物モ相當多量ニ

上ツテ居ル狀態デアリマス、而シテ現在ノ如キ借入經營ノ下ニ於キマシテハ、鐵道其ノモノハ會社ノ所有ニ屬シテ居リマス結果、

十分ナル改良ヲ加ヘルコトガ困難デアリマス、今同之ヲ買收致シマシテ、其ノ輸送力ヲ強化シ、時局下ノ要請タル生産力ノ

擴充等ニ資セントスルノデアリマス
次ニ白棚鐵道ハ東北本線ノ白河驛カラ水郡線ノ磐城棚倉驛ニ至ル延長二十三「キロ」三分ノ地方鐵道デアリマシテ、富士身延鐵道同時ニ政府ニ於テ借入レタノデアリマスガ、借入後ノ成績ガ非常ニ良好デアリマス、今同之ヲ買收セントスルノデアリマス

是等ノ鐵道ハ今モ申上ゲマシタヤウニ、目下政府ニ於テ借入中デアリマシテ、會社自ラ運輸營業ヲ營ンデ居リマセヌカラ、直接地方鐵道法ノ規定ニ基イテ買收スル譯ニハ參ラヌノデアリマシテ、新タニ買收ニ關スル本法案ヲ提出シタ次第デアリマス、買收價額ノ點ニ付キマシテハ、買收ノ日ニ於ケル鐵道ノ建設費以內ニ於テ協定スルコト

付託議案

留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第四號)
田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第五號)
富士身延鐵道株式會社及白棚鐵道株式會社所屬鐵道買收ニ關スル法律案(政府提出)(第六號)

トナツテ居リマスガ、大體借入前ニ於ケル會社ノ營業成績ヲ基礎トシ、其ノ後ニ於ケル益金ヲ推算致シマシテ、地方鐵道法ニ依ル買收價額算定方法ニ準ジ買收價額ヲ決定致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ買收代價トシテ交付致シマス國債證券ニ關スル事項ハ、地方鐵道法ニ依ル買收ノ場合ト全ク同様デゴザイマス

何卒御審議ノ上御賛成アラントラ御願ヒ致シマス

○廣瀨政府委員 當委員會ニ付託ニ相成リマシタ留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外二件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ說明致シマス、先ヅ留萌鐵道株式會社及新瀉臨港開發株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ申上ゲマス、留萌鐵道株式會社ノ經營ニ屬シマスル鐵道ノ內、國鐵留萌線留萌驛ヨリ西留萌、北留萌及假古丹濱ニ至ル留萌港ノ臨港線延長三「キロ」三分ノ鐵道、及新瀉臨港開發株式會社ノ經營ニ屬シマスル鐵道、即チ國鐵信越本線上沼垂信號場ヨリ新瀉臨港ニ至ル新瀉港ノ臨港線延長三「キロ」八分ノ鐵道ニ付キマシテハ、留萌港又ハ新瀉港ニ於ケル海陸連絡施設ヲ整備統制シ、以テ重要物資輸送ノ

圓滑ヲ圖ルノ必要上ヨリ、昭和十六年度ニ於テ、之ヲ買收スルノヲ適當ト認メマシタル所、是ガ爲ニハ買收代價トシテ交付スベキ公債ヲ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ田名部運輸軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、田名部運輸軌道株式會社ノ經營ニ屬シマスル軌道ハ、國鐵大湊線田名部驛前ヨリ田名部柳町ニ至ル延長四「キロ」ノ軌道デアリマスルガ、國鐵大畑線ガ之ニ接近並行シテ敷設セラレマシタル關係上、多大ノ影響ヲ受ケ、其ノ營業繼續不能ニ陥リマシタル爲メ、本軌道ノ經營廢止ニ因ツテ生ズル損失ヲ補償スルノヲ適當ト認メマシタル所、是ガ爲ニハ右補償トシテ交付スベキ公債ヲ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○星島委員長 ソレデハ是ヨリ申込順ニ依リマシテ質疑ニ移リタイト思ヒマス、初メニ松浦周太郎君

○松浦(周)委員 ソレデハ留萌鐵道買收ニ對スル基礎計算、其ノ他買收價格決定ニ對スル御説明ヲ一ツ先ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○大山政府委員 買收價格ノ計算方法ニ付キマシテハ、地方鐵道法ニ規定ガアルノデアリマシテ、其ノ三十一條ニ書イテアル譯デアリマスガ、大體申上ゲマス、過去三年間ノ營業成績ヲ見マシテ、其ノ益金ヲ五分デ還元シタル額ト云フコトニナルノデアリマス、其ノ金ガ會社ノ鐵道ニ掛ケテ居ル建設

費ニ及バナイ場合ニ於キマシテハ、建設費以內ニ於テ協定シタル金額ニ於テ買收スルコトニナルノデアリマス、サウシテ從來ノ慣例ト致シマシテハ、先ニ申上ゲマシタル益金還元ト建設費トヲ合ハセテ二デ割ルト云フノガ慣行ニナツテ居リマス

○松浦(周)委員 買收價格ハ幾ラニ御買ヒニナルノデスカ

○大山政府委員 是ハ買收ノ日ノ前ノ營業年度末カラ遡リマシテ三年間ヲ計算スル譯デゴザイマシテ、隨テ買收ノ日ガ只今ノ所マダ確定致シマセズ、御協賛ヲ經テ後ニ決定スルコトニナツテ居リマスノデ、的確ナコトヲ申上ゲル譯ニハマダ參ラナイノデアリマス

○松浦(周)委員 併シ大體幾ラ位ニ買ヘルト云フ目安ガアルデゴザイマセウ

○大山政府委員 大體留萌鐵道ノ海岸線ハ五分ヨリモ少シ上廻ツテ居リマス、隨テ建設費ヨリモ一寸上ニ出ル見當デアラウト考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 ソレハ後ニ計算ニ依ツテ金額ガ大體決定スルト云フコトゴザイマセウ、其ノ方法ノ基礎ヲ御示シナツタノデゴザイマスガ大體幾ラ位デ買フト云フコトヲ此處デ發表スルコトハ出來ナイモノデゴザイマセウカ

○大山政府委員 御手許ニ差上ゲデアリマス參考書ノ四頁ニ、留萌鐵道ノ過去三年間ニ於ケル會社ノ考課狀ニ依ル益金ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、實際買收致シマス場合ニハ、是ハ實ハ期ガ一ツズルノデス、隨テ幾ラ位ニナルカト云フコトガ、將來ノ數字ガ多少含ム——將來ト云フヨリハ、今手ニ入ラナイ數字ガ含マルト云フ意味デの確ニ申上ゲラレナイ

シ、又實際ニ當リマシテハ色々會社ノ帳簿ヲ計算致シマスカラ、大分動カ場合ガアリ得ルノデアリマスガ、只今ノ第四表ニ出テ居ル範圍ニ於キマシテハ二百八十萬圓足ラズ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 此ノ鐵道ハ此ノ圖面ニ示スヤウニ、留萌カラ西留萌ニ致ル臨港線ダケデアラウト思ヒマスガ、結局此ノ鐵道ヲ御買ヒニナルコトニ依ツテ、鐵道ノ方ノ經營カラ見レバ、年ニ幾ラ「トン」數ヲ運バレル考ヘデアルカ、又留萌港ニ集貨スベキ北海道ノ物資ハ、將來何萬「トン」ノ見透シヲ付ケテ居ラレカ、或ハ又留萌港カラ將來陸揚ゲスベキ移輸入貨物何萬「トン」位ニナルデアリマセウカ、ソレ等ノ貨物ヲ扱フトコトニ依ツテ、此ノ買收サレル所ノ經費ノ固定償却ニ對スル見透シハドウデアアルカト云フコトモ參考ニ御聽キシタイト思ヒマス

○大山政府委員 大體石炭關係ニ付キマシテ只今留萌ノ港デノ數字ニハ申上ゲ兼ネマスガ、相當量ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、將來雨龍、空知アノ方面ノ炭田ノ開發ニ連レマシテ、其ノ出炭量ト云フモノガ大分殖エルト見込マレルノデアリマス、逐年増加ノ傾向ニアル、斯ウ云フ風ニ一應ノ豫想ヲシテ居ルノデアリマス、其ノ他ノモノニ付キマシテハ、此ノ時局ニ伴ヒマシテ増加スルコトハ確カデアリマスルガ、詳細イ豫想數字ヲ實ハ只今手許ニ持ツテ居ナイノデアリマス、ソレカラソレニ對シテ買收後ドウ云フ風ニ政府ニ利益ガ來テ、ドウ云フ風ニ其ノ建設費ヲ償却スル見込カト云フ風ニモ伺ツタノデアリマスガ、是ハ石炭ノ増産ヲ援助スル、生産力擴充ニ力ヲ致スト云フコトヲ以テ買收ノ主眼點ト致シテ居ルノデ

アリマシテ、此ノ短カイ「キロ」餘リノ臨港線ガ岐レテ出來テ居ルノデアリマスカラ、其ノ運賃ノ關係ニ於キマシテハ殆ド遠方カラ來ルモノハ只ニ等シイモノニナル、隨テ石炭ノ増産ニ助力スル所ハ多イト思ヒマスルガ、鐵道ノ收益云々ト云フコトニ付キマシテハ、餘リ考慮致シテ居ラヌノデアリマス

○松浦(周)委員 ソレデ能ク分リマシタガ、將來留萌港ヲ中心トスル其ノ背後關係ノ石炭ノ生産量、及ビ石炭ノミナラズ各種生産物ニ對スル資料ヲ私ハ御願ヒシタイト思ヒマス、ソレデ鐵道ノ方ト致シマシテハ各種生産物ヲ何年度ニハドノ位留萌ニ集貨ガ出來ル見込デアアルカ、所謂鐵道ノ輸送計畫カラ見マシテ、北海道ノ生産擴充カラ致シマシテノ綜合的ナ資料ヲ一ツ御願ヒシタイト思ヒマス

○鈴木(清)政府委員 留萌ハ主ニ石炭デアリマシテ、空知炭田、雨龍炭田ノ石炭デゴザイマス、他ノ物ハ是カラ見レバ非常ニ少イノデアリマス、綜合的ナ資料ヲト云フコトデゴザイマスガ、今港ノ關係ガアルモノデスカラ少シ其ノ數量ヲ申上ゲマシタケレドモ、其ノ點モ實際ハ軍機ニ互ツテ居リマス、殊ニ石炭ノ生産擴充計畫ノ資料ハ機密ノ材料デゴザイマスカラ、實ハ差上ゲ兼ネルノデゴザイマス、一ツ左様御諒承置キラ願ヒタイト思ヒマス

○松浦(周)委員 鐵道當局ト致シマシテハ、品物ヲ積出ス營業關係ヨリモ、生産擴充ヲ中心トサレルト云フコトハ機宜ヲ得タ方法デアルト存ジマス、斯様ナ計畫デ留萌ノ鐵道ヲ御買ヒニナリマシテモ、港其ノモノガサウ云フ品物ヲ積出スダケノ設備ガ完

備シテ居ラナケレバ出來ナイト私ハ思ヒマス、鐵道ノ方ダケガ進捗致シマシテモ、港灣計畫ガ完成シナケレバ、折角國費ヲ投ジテ鐵道ヲ御買ヒニナツテモ何ニモナラナイ、併シ將來綜合的ニ港灣モ鐵道モ整備サレル時ガ來ルコトヲ待ツ爲ノ手ヲ打タルノデアリマセウガ、今日ノ留萌ノ港ガドレダケノ荷物ヲ吞吐スル力ヲ持ツテ居ルカト云フコトニ付テモ、鐵道當局トシテノ見透シガアラウト思ヒマスガ、ソレハドノ位ノ力ヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ

○大山政府委員 寧ろ地元デアラレル松浦委員ノ方ガ御詳シイダラウト思ヒマスガ、私共ト致シマシテハ、石炭ノ増量ニ對シマシテハ、其ノ設備ヲ石炭ヲ出ス數量ニ應ジマシテ改善致シテ、遺憾ナキヲ期シタイト思ツテ居ル次第デアリマス、又港ノ方面ハ只今ノ所其ノ力ガアルモノト見テ居ルノデアリマスガ、何レ更ニ増加スル場合ニ於キマシテハ、逕信省其ノ他關係當局ト十分連絡ヲ執ツテ善處シタイト思ヒマス

○松浦(周)委員 昨日之ニ付キマシテ私ハ質問シタイト思ヒマシテ、内務省ノ地方局長ニ出ラレルヤウニ事務ノ方ニ申シテ置キマシタガ、其ノ方ハドウデゴザイマセウカ

○星島委員長 今北海道長官ノ出席ヲ求メマシタカラ寧ろ北海道長官ノ方ガサウ云フコトニ一番宜イダラウト思ヒマスガ、如何デセウカ

○松浦(周)委員 私ハ内務省ノ地方局長ノ方ガ宜イト思ヒマス、兩方出テ戴キタイト思ヒマス

ソレデハ港灣ノコトハ其ノ方ニ譲リマシテ、鐵道關係ニ付キマシテ少シ御尋ネシタイト思ヒマス、私ハ將來留萌ノ港ト

云フモノハ、現在ノヤウナ狀況デハ逆モアノ大資源ヲ動かカスコトハ出來ナイト思ヒマス、其ノ背後關係ニ於キマシテハ、北海道ノ三分ノ一ノ物資ガ彼處カラ出ルヤウニ將來ナルダラウト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、現在ノヤウニ百萬「トン」ヤ百五十萬「トン」デモ船ガ十分出入リガ出來ナイト云フヤウナ港デハ、國家ガウント後押シサレナケレバ甚ダ心許ナイノミナラズ、地方ノ生産擴充ノ爲ニハ、一層大港灣計畫ヲ立テテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、彼處ノ施設ヲ見マススト云フト、從來北海道ノ港ハ防波堤ヲ造リマシテ、自然ト戰フヤウナ港ノ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ常ニ浪ノ爲ニ破壞セラレマシテ其ノ目的ヲ達成スルコトガ困難デアリマス、隨ヒマシテ今後ハ沖ニ防波堤ヲ出スヨリモ、内ニ掘込ムコトガ最も必要ナコトニナツテ居リマス、留萌ノ現狀ヲ見マススト云フト、内ニ掘込ム場合ニ、増毛ニ通ズル鐵道ノ路線ガアリマス、サウシテ此ノ内ニ掘込ムコトガ困難ナ狀況デアリマス、併シ生産擴充ヲナス爲ニハ、此ノ鐵道ノ路線ヲ變更シテ其ノ目的ヲ達成シナケレバ、折角之ヲ買收サレタ所ノ目的ガ達セラレナイ、サウ云フ場合ニ於ケル増毛ニ通ズル路線ノ變更ニ付テハドウ云フ御考ヲ持ツテイラツシヤイマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○倉田政府委員 私カラ御答ヘ致シマス、只今御話ノ増毛線デアリマスガ、無論港ヲ非常ニ擴張スルトカ、此ノ港灣ニ對スル臨港設備ヲ非常ニ擴張スル場合ニハ、或ハ御話ノヤウナコトモ考ヘラレルカモ知レナイノデアリマスガ、現在ハ此ノ線ヲ直グニ改良スルト云フ計畫ハ持ツテ居リマセス、隨

テ増産計畫ナリ、擴張計畫ノ進行スルニ從ツテ考ヘテ行ケバ宜イト考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 留萌ノ集貨スル各方面ノ鐵道ノ關係デアリマスガ、殊ニ北天鹽炭田及ビ苫前炭田ノ關係デアリマス、今苫前炭田ノ關係ニ付キマシテハ、羽幌カラ初山別ニ至ル間ガ工事中デアラレルヤウデアリマスガ、之ニ對シテ苫前炭田カラ留萌ニ輸送スル輸送路ノ鐵道工事ハ繰延ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ何年度マデニ完成スルモノデアリマセウカ、又羽幌カラ遠別ニ至ル天鹽海岸鐵道、是ガ中斷サレテ、アノ僅カ一區間ガ出來ナイ爲ニ、北天鹽炭田ノ埋藏量約二十億「トン」ト云ツテ居リマスガ、其ノ炭田ニ手ヲ着ケルコトガ出來ナイ、現在日曹ガ豐富ト云フ所デ石炭ヲ掘ツテ居リマス、是ハ稚内ニ出スト非常ニ便利デアリマスケレドモ、稚内ノ港ガ完備シテ居ナイ爲ニワザワ旭川ヲ迂迴致シマシテ、サウシテ留萌ニ持ツテ來テ居リマス、此處ハ北天鹽炭田ノ一部デアリマスガ、アノ中ニハ二十億「トン」ノ埋藏量ガアルト云ツテ居リマス、是ガアノ僅カ一區間ノ鐵道ガ完成シナイ爲ニ企業家ガ之ニ資本ヲ投ジナイ、其ノ爲ニ現下ノ日本ニ於ケル血液トモ見ラレル所ノ石炭ヲ採掘スルコトガ出來ナイト云フヤウナ現狀ニナツテ居リマス、此ノ天鹽海岸鐵道及ビ今工事ヲシテ居ラレマス所ノ此ノ羽幌初山別間ニ對シマシテハドウ云フ御考ヘデアリマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○倉田政府委員 只今御話ノ天鹽炭田ニ對スル問題ニ付キマシテ先ニ御答ヘシマス、今御話ノ日本曹達デアリマスガ、アノ炭田ノ開發ハ現在私設鐵道ヲ作ツテ居リマス、ソレカラ建設線ト致シマシテハ、羽幌カラ築別マデノ工事ヲ進メテ居リマス、是ハ石炭ノ方ノ搬出ノ線路及ビ石炭ノ山ノ方ノ工事ガ進ンデ居リマスノデ、建設局ト致シマシテモ、極力現場ノ方ヲ進捗サセルヤウニ進メテ居リマス、ソレカラ築別カラ遠別ニ至ル方ノ部分ハ、現實的ニハ増産計畫ガ進ンデ居ルトモ申セナイト思ヒマスノデ、是ハ産業方面ノ擔當者ト能ク打合セマセヌト分ラナイノデアリマスガ、建設計畫トシテハ一應築別マデニ全力ヲ注グ、斯ウ云フ方針ヲ進ンデ居リマス、モウ一ツノ御話ノ線ハ一寸分リニクカツタノデアリマスガ、何線デゴザイマセウカ

○松浦(周)委員 天鹽ノ海岸ノ線デアリマス

○倉田政府委員 天鹽ノ海岸ノ鐵道デアリマス、大體今御話致シマシタヤウニ、築別マデニ全力ヲ注イデ、其ノ先ハ増産計畫ト睨合ハセテ能ク考ヘテ、今後ノ仕事ヲ進メテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 然ラバソレハ昭和何年マデニ完成スル積リデアリマスガ、只今ノ築別カラ遠別ニ至ル區間デアリマスガ、其ノ區間ガ出來テ居ラヌ爲ニ、先程申シマシタ二十億「トン」ノ炭田ヲ開發スルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ例ハ唯單ニ是バカリデハアリマセス、約埋藏量百億「トン」ト稱セラレル北海道ノ奥地ニハ、鐵道ノ敷設ガナイ爲ニ採掘ニ着手スルコトガ出來ナイ所ガ各所ニアリマス、殊ニ日勝線ノ如キハ其ノ一ツデアリマス、今「クローム」鐵礦ノ國內ニ不足シテ居ルコトハ言フマデモナイ、所ガ日勝線ノ中間ニハ世界

的ナ「クローム」鍍ガアル、然ルニ當局ハ其ノ「クローム」鍍ノアル鐵道ニ對シテ常ニ繰延ベヲ致シテ居ラレマスガ、此ノ日勝線ノ鐵道工事ニ對シマシテハ、何時頃マデニ完成スル考ヘデアリマスガ、ソレヲ重ネテ御伺ヒシテ置キタイと思ヒマス

○東條委員 一寸申上ゲマス、松浦君ノ聽イテ居リマス線ハ羽幌カラ遠別ニ至ル線デアリマスガ、當局ノ御答辯ノ案別ト言ハレソコヲ一ツ混雜シナイヤウニシテ戴キタイと思ヒマス

○倉田政府委員 モウ一應申上ゲマス、今ノ御質問ハ羽幌カラ遠別マデデアリマシテ、其ノ途中ニ案別ト云フ所ガアル譯デアリマス、其處ヘ私設鐵道ノ工事中デアリマス、ソレデ其ノ私設鐵道ガ出來ツツアリマシテ、現在開發サレツツアリマス炭田ノ炭ハ、案別ヘ私設鐵道デ出來テ、案別カラ羽幌マデ、私ノ方ガ工事ヲ進メテ行ツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ其ノ案別カラ先ノ遠別マデノ區間デアリマスガ、非常ニ石炭ノ埋藏量ガアルサウデアリマシテ、私共トシテハ工事ヲ進メタイノデアリマスガ、何分資材ガ非常ニ不十分ナ時デアリマスノデ、ドンドン工事ヲ進メルコトニナツテ居ラナイノデ、多少繰延ベノ形ニナツテ居リマス、ソレデ結局二十一年ニ完成スル形ニナツテ居リマス

次ニ線名ヲ言ハレマシタガ、實ハ一寸私ハ分リマセヌガ、邊富内線ダと思ヒマスガ、北海道鐵道ノ邊富内ト云フ驛カラ北ニ行ツテ居ル線デアリマスガ、是ハ途中ニ「クローム」鐵道ガ非常ニ產出サレテ居リマス、日本トシテモ日本内地產ノ大部分ダサウデ

アリマス、ソレハ能ク分ツテ居リマシテ、實ハ工事ハ極力進メテ居リマス、ソレデ鍍山マデハ成ベク早イ期間ニ仕上ゲヨウと思ヒマシテ、工事ハ今年モ次々ニ致シテ居リマス、是ハ極力進メタイと思ヒマス、但シ全線ノ開通ハ色々物資ノ工合デ延ビマシテ、ヤハリ二十一年ニ全通スルコトニナツテ居リマス

○松浦(周)委員 先刻ノ續キヲモウ少シ御聽キシタイと思ヒマスガ、政府ハ生産擴充ニ重點主義デ昭和十六年十七年ニ完成スルモノニ對シテハ、非常ニ力ヲ注イテ行クト云フ御答辯ヲセラレマシテ、私共非常ニ同感ニ思ツテ居ルノデアリマス、所ガ名寄、朱鞠内ニ至ル鐵道デアリマス、是ハ去年ノ秋マデニ鐵道ガ完成シマシテ、「レール」モスツカリ出來上リ、總テノ設備モ完了致シマシタ、然ルニ「レール」モスツカリ御敷キニナル所ノ鐵ノ「レール」モスツカリ御敷キニナルツテ、全部完成シテ居ルニモ拘ラズ、之ヲ營業サレナイト云フコトハ一體ドウ云フ考ヘデアルカ、アノ奥ニハ大キナ炭田モアリ又森林資源モ豊富デアリマス、若シアノ鐵道ガ今年運轉シテ居ルナラバ、彼處カラ輸送サレル物資ハ少カラヌモノガアツテ、國家ニ貢獻スルコトガ出來タノデアリマス、然ルニ工事モ完成シ、「レール」マデ敷イテシマツテ、營業シナイト云フコトハ私ハ了解ニ苦シムノデアリマスガ、ドウ云フ爲ニサウ云フコトヲシテ居ラレルノカ、或ハ機關車ダトカ、或ハ貨車ガ足りナイ爲ニヤレスト云フヤウナコトモアルデアリマセウ、

操車上ノ御苦心ハ察スルコトガ出來マスガ、併シ一日ニ二回カ三回ノ往復、ソレヲシナイ、折角「レール」ヲ敷イテ放任シテ置

クト云フコトハ、是程ノ損失ハナイト私ハ思フ、何時頃オヤリニナル御考ヘデアルカ、又何時マデモアノ儘ニシテ置イテヤラス積リデアルカ、ソコノ處ノ話ヲ聽イテカラ、私ノ意見ヲ述ベタイと思ヒマス

○長崎政府委員 松浦君ノ御話ノ通りデゴザイマシテ、私共モ出來ルダケアノ線ハ早クヤリタイ考ヘデゴザイマシタ、所ガ今御述ベニナリマシタヤウナ車輛ノ關係ガゴザイマシテ、車ガ中々思フヤウニ出來テ參リマセヌ、ソコヘ持ツテ來テ、實ハソコハ餘程兼合ヒノ問題デアリマシタガ、「ガソリン」ノ規正ヲ受ケマシタ關係上、既設ノ「ガソリン」動車ヲ大分減サナクテハナラ

スト云フ狀況ニナリマシテ、其ノ爲ニ線ニ依リマシテハ、現在「ガソリン」動車ガ停ツテ居ル停車場モ、廢メナクテハナラヌスト云フヤウナ情勢ニナツタモノデゴザイマスカラ、今マデ「ガソリン」動車ガ通ツテ居タ處ヲ全然通サナイ、或ハ全然停メテナクナルト云フヤウナコトデハ大變ダカラト云フノデ、之ヲ一部分何トカ工面ヲシテ、蒸汽列車ヲ通サウト云フコトデ、是ハ極ク少數デゴザイマシタガ、其ノ方面ニモ機關車ガ要ルヤウナコトニナリマシタノデアリマス、

ソレデモ何トカシテ名兩線ダケハ通サウデヤナイカト云フコトデ色々研究致シマシタガ、ドウシテモ二月頃ニナラナケレバ、機關車ガ浮イテ來ナイト云フ狀況ニナツタノデアリマス、話ハ前後致シマスガ、實ハ年度ノ當初カラ貨物列車、旅客列車ノ回數ヲ増サウト云フコトヲ計畫シテ、鐵道ノ都合カラ申シマス、實ハ秋ニナラナイ前、或ハ秋ニナツテ直グ十月頃ニ列車ノ増發ヲスルコトガ一番都合ガ好イノデアリマス、所

ガソレヲ十月ニヤレナクテ、此ノ二月ノ十五日ニヤラナケレバナラヌ、年ニ二度ニ切ツテヤラナケレバナラヌト云フ狀況モソレニ加ツテ居ツタ譯デアリマス、左様ナ譯デ延ビ「レール」ニナリマシテ、松浦委員ノ御述ベニナリマシタヤウナ事情ハ能ク分ツテ居リマシテ、何トカシテ吾々モ之ヲ御話ノ通り二回カ三回デ宜シイノデアリマスカラ、工面ヲシテヤリタイト考ヘマシタガ、遂ニ冬場ニ入ツテシマツタノデアリマス、冬場ニ入リマスルト御承知ノ通りヤレマセヌ、今デアリマスレバ、幾ラカ何トカ無理ヲスレバヤレナイコトハナイノデアリマスガ、モウ駄目ダト云フコトデ、残念ナガラ今年ハサウ云フ事情デゴザイマスガ、雪ガ融ケテ汽車ガ動ケルヤウニナレバ、直グ動カシテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 サウスルト大體四五月頃ト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○長崎政府委員 雪ノ模様モゴザイマスカラ、四五月ト切ツテ申上ゲテ宜シイカドウカ分リマセヌガ、今申上ゲマシタヤウニ、雪ガ融ケマシテ汽車ガ動ケルト云フ時期デゴザイマスカラ、ソレヨリ早クナルコトハ一寸困難カト思ヒマス

○松浦(周)委員 此ノ點ニ付テ御尋ネシタイコトハ、資材ノ不足シテ居ル今日、話ガ少シ面倒カモ知レマセヌガ、北海道ノ生産擴充ノ上ニ必要ダと思ヒマスノデ、御尋ネシテ置キマスガ、帶廣方面或ハ根室方面トノ關係デアリマス、或ハ蘆別炭田ノ石炭ヲ輸送スル爲ノコトデアリマス、蘆別ヲ起點ニ致シマシテ考ヘマス、アノ附近カラ產物ヲ留萌ノ港ニ持ツテ來ルト云フコトニナリマスルト、瀧川ニ出マシテ、ソレカラ函館本線

ガソレヲ十月ニヤレナクテ、此ノ二月ノ十五日ニヤラナケレバナラヌ、年ニ二度ニ切ツテヤラナケレバナラヌト云フ狀況モソレニ加ツテ居ツタ譯デアリマス、左様ナ譯デ延ビ「レール」ニナリマシテ、松浦委員ノ御述ベニナリマシタヤウナ事情ハ能ク分ツテ居リマシテ、何トカシテ吾々モ之ヲ御話ノ通り二回カ三回デ宜シイノデアリマスカラ、工面ヲシテヤリタイト考ヘマシタガ、遂ニ冬場ニ入ツテシマツタノデアリマス、冬場ニ入リマスルト御承知ノ通りヤレマセヌ、今デアリマスレバ、幾ラカ何トカ無理ヲスレバヤレナイコトハナイノデアリマスガ、モウ駄目ダト云フコトデ、残念ナガラ今年ハサウ云フ事情デゴザイマスガ、雪ガ融ケテ汽車ガ動ケルヤウニナレバ、直グ動カシテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ヲ下リマシテ深川ニ來テカラ留萌ニ行クト云フコトニナリマス、是ハ非常ナ大廻リニナルノデアリマスガ、深川カラ蘆別ニ向ツテ一ツノ鐵道ヲ付ケルト云フコトニナルト非常ニ近距離ニナル、アノ間ニ於ケル石炭ノ埋藏量、現在採掘サシテ居ル石炭ノ量ト云フモノハ夥シイ數字デアリマス、之ヲ一ツ御奮發ニナツテ、留萌ニ直チニ持ツテ行ケルヤウナ路線ヲ御考ヘニナツテハドウカ、サウ云フコトヲ御考ヘニナツタコトハアルカナイカト云フコトニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス

モウ一ツハ今ノ留萌ノ臨港鐵道ヲ買収サレルト同時ニ考ヘナケレバナラスコトハ、港ノ方ノコトダケヲ考ヘテモ、其ノ輸送路ガ完全デナケレバ出來ナイノデ、峠下ト幌糠間ノ峠ノ有様ヲ見マスルト、牽引力モ非常ニ少イデアリマスカラ、アノ峠ヲ切下ゲルトカ、或ハ「トンネル」ヲ掘リ直ス改良工事ヲスル必要ガアルノデハナイカ、更ニ北海道ノ物資ヲ輸送スルノニハ、三分ノ二ガ留萌ニ出ルト云フ數字ニナツテ居リマス、之ヲ玆ニ申上ゲマス、大體北海道ノ行政別ニ見マス、留萌支廳、宗谷支廳、旭川市、川上支廳、空知支廳、網走支廳、斯ウ云フ方面ガ距離ニ於テ一番近イノデアリマス

〔委員長長退席、鹽川委員長代理着席〕

言ヒ換ヘルナラバ、北海道ノ中部ノ生産地帯ノ中心地ニ近イ港デアアル、陸上運送ノ關係カラシテ當然留萌ニ集中サルベキモノデアリマス、此ノ面積ハ北海道ノ六千方里ニ比較致シマス、千五百八千方里アリマス、人口ガ此ノ間ニ七十五萬八千餘ノ人口ヲ持ツテ居ル、又生産額ガ、北海道ハ今日約十億ノ生産ヲ致シテ居リマスガ、ソレニ

對シマシテ約四億ノ生産ヲ致シテ居ル、是ガ全部ソコニ集中サレテ來ルコトニナル、サウ云フコトニナリマスルト、將來ハ各方面カラ深川ニ荷物が集リマシテ、其ノ荷物ヲ留萌ノ港ニ持ツテ行クト云フコトニナリマス、留萌ノアノ從來ノ鐵道ノ工事ハ全部之ヲ改良シテ、或ハ複線ヲモヤラナケレバナナイ時代ガ來ルノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、ソレノ改良工事ニ對シテハ何方見透シガアリマスカ、其ノ二ツヲ御聽キシタイト思ヒマス

○倉田政府委員 只今最初ニ御尋ネノ問題ハ、大體下蘆別カラ深川ニ行ツタラ宜イダラウ、斯ウ云フコトノヤウニ察セラレマシタ、私ノ方ト致シマシテハ、單ニ圖上デ多少研究ヲシタト云フ程度デアリマス、無論アツタ方ガ宜イノニハ違ヒナイノデスガ、今ノ狀態カラ見マス、今少シ考ヘテ見ナケレバナナイ、斯ウ思ツテ居リマス

次ニ最後ニ御話ニナリマシタ非常ニ荷物ガ集中シテ來ルガ、其ノ留萌附近ノ線路ヲ改善スル方針如何、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ今直チニヤルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、ヤハリ輸送量ノ増、ソレカラ一般ノ情勢ヲ見合ハセマシテ、次ギ「ニ改良計畫ヲ立テテ行ツタラバ宜イノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、其ノ途中ノ隧道、今ハツキリ記憶シテ居リマセヌガ、急勾配デ無論アルノダト思ヒマスガ、ソレハヤハリ輸送量ト睨合ハセマシテ、輸送量ノ激増スルニ從ツテ、線路ノ改善ナリ、變更ナリヲ考慮スレバ宜イヤウニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 モウ一點ハ鐵道ト會社ノ關係デアリマス、從來其ノ表ニモアリマシタ

ヤウニ、僅カナ所デ二十一錢ノ運賃ヲ取ツテ居ツタ、其ノ爲ニ「ブレイキ」ノヤウナ關係デ荷物が集ツテ來ナカッタ、寧ろ小樽ニヤツタ方ガ陸上運賃ガ安く上ガルト云フ關係ト、中繼費ノ關係ガ高クナルカラ、留萌ニ荷物が集ラナカッタ、所ガ是ハ先程御説明ニナリマシタヤウニ、全部平均ニ御計算ニナルト、遠距離カラ見レバ、只ノヤウナ運賃ニナル、斯ウ云フコトニ依ツテ、荷物が彼處ニ非常ニ集中スルコトハ理ノ當然デアリマス、併シ一方會社側カラスレバ、アノ近距離ニ二十一錢ノ高イ運賃ヲ取ツテ居ツタコトニ對シテ、此ノ鐵道ヲ取ラレタ残りノ部分デ會社ノ經營ガ立ツカドウカ、若シ此ノ會社ノ經營ガ立ツカドナルトスレバ、アノ奥デ採掘スル石炭ノ輸送ガ困難ニナル、或ハ總テノ林産、農産ノ輸送ガ困難ニナルノデアリマスガ、其ノ邊ノ關係ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○大山政府委員 會社ノ残りマス所謂山線ノ部分ニ付キマシテノ御質問デアリマスガ、山ノ方ノ線モ最近出炭量ノ増加ニ連レマシテ、成績ガ相當向上致シタノデアリマス、最近ノ期ニ於キマシテハ、建設費ニ對シテ五分ヲ越ス程度ノ利益ヲ上ゲテ居リマス、隨テ十分山線デヤツテ行ケル見込デ居ルノデアリマス

○松浦(周)委員 鐵道ノ方ニ付テハ此ノ位ニ致シマス、内務省ノ方ニ御尋シタイノデスガ、マダ見エテ居ナイヤウデスカラ……

○塩川委員長代理 ソレデハ東條貞君

○東條委員 商工省ノ政府委員ハマダ見エテ居リマセヌカラ、見エマシタラ……

○塩川委員長代理 只今問合ハセテ居リマスノデアト廻シニ致シマス——次ニ春名成

章君

○春名委員 大臣ノ説明ニ依リマシテ、留萌鐵道買収ノ點ニ付テハ明瞭デアリマシテ、又左様ニナツテ居ラナケレバナラスノデアリマス、仍テ此ノ買収ガ決定致シマスレバ、直ニ軌道其ノ他ノ改良ヲヤツテ戴イテ、輸送力ノ増強ニ資シテ戴キタイト思フノデアリマスガ、私カラ見マスレバ、現在ノ狀態デハ寧ろ危險ヲ感ズルヤウナ場所モ多イノデハナイカト思ツテ居リマスカラ、是ガ決定致シマスレバ、直ニ根本的ノ改良ヲシテ此ノ點ニ付テ大臣ノ御考ヘヲ承ルコトガ出來マスレバ大變幸セデアリマス

○大山政府委員 買収ノ目的ガ生産力ヲ擴充スルコト云フ情勢ニモ應ジ、輸送力ヲ強化スルコト云フヤウナ目的ヲモ遂行シタイト云フコトデ買収致スノデアリマス、殊ニ今日ハ迂回輸送ノ已ムヲ得ザルニ至ツタモノガ非常ニ澤山アリマスノデ、ソレガ東海道鐵道ナンカノ輸送力ニブツ掛ツテ來テ居リマスノデ、ドウシテモ此ノ富士身延ノ線ニ付キマシテ改良工事ヲヤリ、停車場ナンカモ相當ニ改良ヲ加ヘテヤルト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ細目ノコトハ政府委員カラ御答ヘ致サセマス

○阿曾沼政府委員 今ノ春名サンノ御質問ニ對シテ私カラ大體ノコトヲ申上ゲマス、富士身延鐵道ハ御説ノ通り、線路トシテハサウ良イ線デハナイノデアリマス、買収ノ目的モ實ハ借入ダケデハ、十分ニ線路ノ改良ガ出來ナイト云フコトガ一ツノ理由デアリマス、今後此ノ線路ハ相當ニ改良ヲシテ行ク積リデアリマス、差當ツテ十六年度ニモ相當額ノ改良費ヲ計上シテアルデアリマス

〔鹽川委員長代理退席、委員長着席〕

○春名委員 大體諒承致シマシタガ、相當程度ト云フヨリモ、私達が見ルト之ヲ根本的ニ改良シテ戴カケレバナラヌ、先程モ御述ベニナリマシタガ、委任經營ニナリマシテカラハ、以前ヨリモ貨物輸送モ旅客モ倍以上ト云フコトニナツテ居ル狀態デアリマス、ソレニ御承知ノ通りアア云フ地方デアリマスカラ、中々危險ガ多イト云ツテモ宜イヤウナ地方デアリマス、「カーヴ」モ相當急「カーヴ」ニナツテ居リマスシ、段々殖エツツアル貨物ノ狀態ヲ、現在ノ儘デ輸送スルト云フコトハ相當注意ヲ要スル、成ベク早く、寧ろ根本的ニ改良ヲシテ戴クヤウニ、是ハ質問ト云フヨリモ希望ヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ此ノ富士身延鐵道ノ借入ノ問題ガ提案サレマシタ時ニモ、儲力當時ノ喜安次官ニ對シテ、一日モ早く之ヲ買收サレンコトヲ希望スルト申上ゲタカト思ツテ居リマスガ、同様ノ希望ヲ申上ゲベキ私設鐵道ハマダ相當多イト思ヒマス、況ヤ現下ニ於ケル鐵道輸送ノ狀況ヲ見マス、特ニ東海道本線ノ支線トモ云フベキ私設鐵道ニ於テ、買收サルベキ鐵道モ隨分アルト思ヒマス、例ヘテ見マスルト豊橋辰野間ノ鐵道二百餘「キロ」デアリマスガ、是ハ委任經營ノ運動ヲ起シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、併シナガラ只今申上ゲマス通りニ、富士身延鐵道ニ於テモ明カナ如ク、委任經營デハ到底満足ナル輸送ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト云フコトハ、大臣ノ御話ノ通りデアリマスカラ、委任經營ト云フガ如キ中間ノ施設ヲナサルヨリモ、一段飛ンデ買收ヲ斷行セラレルコトガ、輸送量ノ緩和ヲナ

ス上ニ於テモ必要デヤナイカト思ヒマス、併シナガラ斯クノ如キ路線ハマダ相當多イト思ヒマスルガ、ソレ等ニ對シテハ相當御考慮下サレバ出來ナイコトハナイト思フノデアリマス、買收ガ一日早ケレバ早イ程此ノ輸送ノ問題ヲ解決シ、隨テ生産擴充ニモ裨益スルコトハ申上ゲルマデモナイ話デアリマスルカラ、此ノ點ニ付テ御見透シハドウ云フ風ニナツテ居リマスルカ、承レレバ結構ト思ヒマス

○小川國務大臣 實ハ御話ノ通りニ他ノ鐵道ニ付キマシテモ、買收ト云フコトハ相當考ヘテ見タノデアリマス、唯交付公債ノ額ガ餘リ多クナリマス、公債政策ノ上カラ又多少故障モ起ツテ參リマスノデ、此ノ交付公債政策トモ睨合ハセマシテ、今回ハ四鐵道ガ一番急務ダト考ヘマシテ、此ノ四鐵道ノ買收ヲ提案シタ譯デアリマス、他ノ鐵道ニ付キマシテモ全ク考ヘナイノデアアリマセスケレドモ、サウ云フ事情デ此ノ四鐵道ダケニ切りマシタノデアリマスガ、他ノ鐵道ノ買收ニ付キマシテハ、尙ホ此ノ公債政策ナリ色々コトト睨合ハセマシテ、今後十分ニ考究シタイト考ヘテ居リマス

○春名委員 大臣ノ御説明デ能ク諒承致シマシタ、兎モ角モ特ニ東海道本線ニ接スル所ノ私設鐵道ノ如キハ、買收ノ必要一日モ早カラシコトヲ望マレノデアリマスルカラ、交付公債政策其ノ他ト能ク睨合ハサレマシテ、成ベク早く此ノ買收ヲ實現サレンコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○星島委員長 手代木君

○手代木委員 簡單ナ問題ヲ三四御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ日本ノ北方交通ノ幹線ヲ整備スルコトニ關シタ問題デス

ガ、北海道、樺太ヲ貫キマス鐵道幹線ノ整備ト云フコトハ、當局ガ年來銳意努力シテ居ラレルコトデアルト思フノデスガ、併シドウモ私共ノ見ル所デハ、果シテ本當ニヤツテ居ラレルカドウカ、甚ダ其ノ點ニ付テハ満足シテ居ラヌノデアリマス、殊ニ昨今ハ、他ノ色々事情ガアルカモ知レマセスケレドモ、却テ吾々ノ希望ヲ裏切ルヤウナ事態ガ多イヤウニ考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ色々御伺ヒシタイ點ガアルノデアリマスガ、其ノ重要ナル一ツトシテ、御承知ノ北海道本土トノ連絡、現在ノ函館、青森間ノ交通關係デアリマス、貨物モ旅客モ非常ニ激増シテ居ルモノト思ハレマスガ、旅客ノ如キニシテモ北海道カラ本土ニ渡ルノニハ、船ニ依ツテハ御承知ノ通り指定券ヲ二日前カラ求メナケレバナラヌヤウナ狀態ニアアルノデアリマス、北海道、樺太ノ開發ニ連レマシテ、ヨリ一層旅客、貨物ノ輻湊スルコトハハモウ疑ヒナイノデアリマス、又所謂北方警備ノ上カラ申シテモ、又特ニ新タニ北部防衛司令部ガ設ケラレタヤウナ點カラ考ヘマシテモ、ドウシテモモツトハ是ハ整備シテ貫ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、私トシテハ先年來屢々當局ニ要望モ致シ、建議案ナドモ出シテ居リマス、此ノ函館、青森間ニ於ケル現在ノ連絡施設ノ外ニ、モウ一本室蘭本土間、場所ハ先ヅ近イ所ノ大畑ナリ、大間ナリ、或ハ又都合ニ依ツテハ青森デモ宜イデアリマセウガ、此處ニモウ一本連絡施設ヲスル、即チ二本建ニスルコトガ必要デアルト

思フノデアリマス、昨年ノ議會ニ於ケル當局ノ御意見ニ依リマス、青森、函館間ノ現在ノ施設ヲ、所謂擴充強化ト申シマスカ、

サウ云フコトヲスレバ、ソレデ足リルカノ如キコトヲ言ウテ居ラレタノデアリマスガ、其ノ後ハ聞スル所ニ依ルト、何カ室蘭、大畑間ニモウ一本設ケルコトニ付テ、幾ラカ調査デモ考ヘラレテ居ルカノ如キコトモ聞キ傳ヘテ居ルノデアリマス、果シテ左様ナコトガアルノデアルカ、理由ハ前ニモ申上ゲデアリマスルシ、彼此レ説明ヲ致サスデモ能ク御分リデアラウト思ヒマス、兎ニ角現在ノ函館、青森ダケハ——而モ又函館以北ノ現在幹線ニナツテ居マス所ノ俱知安、小樽、札幌經由ノモノノ間ニハ、數箇所非常ニ急勾配ノ路線ガアル譯デアツテ、輸送力ハ私共素人カラ考ヘテモ、非常ニ低下シテ居ルモノダト思フノデアリマス、普通貨車ノ五十輛モ引クヤウナモノガ、漸ク三分ノ一ノ十七、八輛シカ引カヌヤウニ思フノデアリマシテ、益々殖エル貨物ニ對シテ、將來複線デモ設ケルヤウナコトヲ御考ヘニナツテ居ルカモ知レマセスケレドモ、ソレヨリハヤハリサツキカラ申上ゲルヤウニ、他ニモウ一本現在ノ青森、函館間ノヤウナ貨車輸送ノコトデモ考ヘラレレバ、此ノ輻湊ヲ緩和スルコトガ出來、多々益、便利ノコトニナルト思フノデアリマス、時局柄直チニ着手ガ出來ナイト云フコトヲ必ズ言ハレルコトデアラウト思ヒマスガ、着々ソレニ對スル調査研究ナリ、一ツノ對策ヲ立テラレルコトガ必要ダト思フノデアリマシテ、國鐵トシテハ東京下關間ニ於ケル非常ナ大規模ノ幹線ヲ作ラレル調査カ何カラ考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、サウシマスト申上ゲマス通り、日本ノ北方ニ對スル交通路ノ完備ト云フ點ニ付テモ、ヤハリ併セテ考ヘルコトガ當然デアラウト思フノ

コトヲ

デアリマス、之ニ對スル當局ノ根本方針ニ付テ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○長崎政府委員 御答ヘ致シマス、御話ノヤウニ昨年ノ議會デモ其ノ點ノ建議案ガゴザイマシタ、第七十議會デゴザイマスカ、ヤハリ本州、北海道ノ間ニモウ一本航路ヲ開イタラドウカト云フ御質問ガアツタヤウニ記憶致シテ居リマス、御話ノ通り北海道、本州ノ間ノ交通ハ、最近ニ於テ非常ナ増加ヲ示シテ居リマス、サウシテ青森、函館間ノ現在ノ省營航路ガ非常ニ混雜シテ來タコトモ事實デゴザイマス、ソレニ對シテ私共ハ昨年申上ゲマシタヤウニ、船舶ヲ増加スルト云フ方法、青森、函館兩驛ノ改善ト云フヤウナコトヲ計畫シマシテ、現在ノ施設ヲ增強シテ行クト云フ方策ヲ樹立シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是ノミヲ以テ決シテ十分ナリトハ言ヘナイカモ知レナイノデアリマスカラ、私共トシマシテモ建議案ノ御趣旨、又御質問ノ御趣旨ニ應ジマシテ、十分他ノ航路、他ノ方法ニ付テモ研究調査ヲ進メテ行キタイ考ヘデゴザイマスカ、何分ニモ既ニ御話ニモゴザイマシタヤウニ、ヤハリサウ云フコトニナリマス、相當ノ資材、物資ト云フモノガ必要ニナツテ參リマスノデ、現在デハ先ヅ第一ニ現在ノ施設ヲ出來ルダケ利用シテ行ク、現在ノ施設ノ能率ヲ發揮シテ行クト云フ方法デ、不十分デハゴザイマセウガ、マアソレデ忍ンデ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ト申シマシテモ、先程來申シマシヤウニ、他ノ方法、他ノ方策ト云フコトニ付テ、決シテ之ヲ等閑ニ附スル積リハナイノデアリマシテ、今後トモ御建議ノ趣旨ヲ能ク酌ミ取りマシテ、他ノ方法ヲモ研究シテ行キタイ考ヘテ居

リマス

○手代木委員 今ノ御説明デハマダ私ノ御問ヒシタ所ガハツキリ分ラヌ點ガアリマスカ、今ノ空欄、大畑或ハ大間トカ云フモウ一本ノ問題ニ付テ、何カ調査研究デモ始メラレタノデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○長崎政府委員 其ノ御話ノ點ニ付テハ、一應事情ナリ、或ハ實地ナリニ付テ調べハ致シテ居リマスカ、ソレダケデ以テ色々ノ結論ヲ導キ出スト云フコトハマダ十分デアリマセヌノデ、之ニ關スル意見ト申シマスカ、省ノ方針ト云フヤウナモノハ、何モマダ決マツテ居リマセヌ、目下調査中ト云フコトデ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○手代木委員 ソレハ其ノ程度ニシテ置キマシテ、私ノ席ヲ外シテ居リマス間ニ、或ハ春名君カラ質問ガアツタカモ知レマセヌガ、若シ重複スルヤウデシタナラバ、委員長カラ御注意ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレハ私ハ私鐵ノ買收ヲドウシテモツト思切ツテヤラスカト云フコトデアリマス、ドウモ私鐵ハ所謂國鐵ノ代用ヲヤツテ居ルノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマスカ、買收サレルノニハ、當局ニ一定ノ御方針ガアルコトモ承知致シテ居リマスカ、要スルニ運輸系統上トカ、或ハ新線ノ建設ト、而シテ尙ホ其ノ他ニ儲ケノアル線ダナケレバ買ハナイ、ドウモ私ハ斯ウ云フ儲ケガナケレバ買ハヌト云フコトハ、甚ダ不可思議ダと思フノデアリマシテ、代用線ト云フコトガ若シ前提トシテ是認セラルナラバ、儲カラナイ鐵道程ナゼモツト早く買ツテヤラナイカト云フ風ニ、逆ニ私ハ考ヘタイと思ヒマス、サウ云フコトヲセズニ、儲カルモノハ

買フ、儲カラヌモノハオ前等勝手ニヤツテ居レト云フコトハ、親子ミタイナ關係ニア

ル國鐵ト私鐵トノ間トシテハ、私ハ甚ダ日本ノ道德ニモ反スルコトダト考ヘルノデアリマス、殊ニ今日新體制ト云フヤウナコトヲ言ハレル時ニ、公益優先トカ何トカ云フコトガ言ハレルナラバ、ヤハリ代用トシテ頻リニ公益ノ爲ニヤツテ損マデシテ居ルヤウナモノヲ、國家ガ見殺シニシテ置クヤウナコトハ私ハ宜シクナイと思フ、少クトモ相當ナ鐵道デアラナラバ、ナゼモツト思切ツテ之ヲ買收シ、ソレヲ改良シ、サウシテ一層國鐵ノ機能ヲ發揮スルコトヲヤラスノデアルカ、ドウモ地方カラモ相當鐵道省ニ向ツテ、私設鐵道ナドカラモ非公式ノ希望ナドモアルダラウト思ヒマスガ、中々願ミナイデ、今此ノ議會ニ出サレタヤウナ、何デスカ、三「キロ」トカ四「キロ」トカ、或ハ二十「キロ」位ノ小サナモノ、コンナモノバカリ、所謂半端ナモノバカリヲ買ツテ、サウシテアトハ國鐵ハ非常ナ黒字ヲ以テ日計ナドヲ取ラレテ、今日ハ何万圓儲カツタト云フヤウナコトデ喜ンデ居ラレルヤウダガ、私ハモウ少シ思切ツテナゼ澤山ノ鐵道ヲ買收シテ、本當ニ國鐵ノ機能ヲ發揮スルコトヲ考ヘラレナイノデアルカ、是ハ鐵道省ノ多年ノ傳統カ方針カ、何カ知ラナイガ、濫リニ私設鐵道ト云フモノハ買ハナイモノデアアル、斯様ナ考ヘデモ堅持シテ居ラレルノデアリマスカ、何カ鐵道省トシテ、ドウシテモ動カスコトノ出來ナイサウ云フモノデモアルノデアリマスカ、又將來ソレニ對シテドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアルカ、是ハ全國到ル處ニアリマスカ、殊ニ北海道ナドニモ私設鐵道ガ二十七カ八

アツテ、而モ買ハレテ然ルベキ線ガ澤山アルノデアリマス、之ニ對スル今ノ傳統ナ

カニ四ハレタモノデナイトカ何トカノ御意見ヲ伺ヒタイと思フノデアリマス

○小川國務大臣 春名君ノ質問ニ大要答ヘテ居リマスカ、尙ホ繰返シテ申上ゲマス、今度ノ鐵道買收線ト云フノハ、成程此ノ留萌、新潟臨港ハ二「キロ」三「キロ」僅カナモノデアリマスカ、富士身延、白棚線ヲ合ハセマスト、百十八「キロ」ノ相當ナ距離ノアルモノヲ買ハウトシテ居ルノデアリマス、ソレデ澤山ニ地方鐵道ヲ買ツタ宜イデヤナイカト云フ御意見ハ、御尤モデアルト思フノデアリマス、買收ノ方針ハ儲カルカラ買フトカ、儲カラナイカラ買ハナイト云フノデアリマセヌ、大體從來ノ買收ノ方針モ、先ヅ第一ニ國有鐵道建設工事上必要ト認メラレタモノ、第二ニ國有鐵道ノ運輸系統上必要アリト認ムルモノ、第三ニハ軍事又ハ産業上必要アリト認ムルモノ、サウ云フヤウナ線カラ選定シテ買收スルト云フ大體ノ方針ガアツタ譯デアリマス、此ノ方針ハ勿論改メルノデアリマセヌガ、此ノ時局ニ際シマシテ、特ニ生産力擴充ノ必要、斯ウ云フモノハ時勢ノ要求ト云フモノデアリマスカ、サウ云フ角度カラ見マシテ地方鐵道ヲ買收スル、ソレハ儲カラウガ儲カルマイガ、儲カラナイ線デモ今ノ角度カラ見タモノハ買收シヨウ、即チ國防ハ固ヨリデアリマスカ、延イデハ生産力擴充ト云フ角度カラ必要デアルモノハ成タケ買收シヨウ、斯ウ云フ考ヘデアリマスカ、從來ノ買收方針ニ一ツ強味ヲ持ツテ來タ譯デアリマス、所デサウスレバドノ鐵道モ此ノ鐵道モ買ツタ宜イデハナイカト云フ

考ヘモ起リマスケレドモ、是ハ一ツ公債政策ト云フモノト睨合ハセナケレバナラス、御承知ノ通りニ公債ガエラク増シテ來タヤウナコトデアリマシテ、國ノ財政經濟ノ方面カラ、此ノ公債ヲ濫發スルコトヲドウスルカ、斯ウ云フ一ツノ議論モアルノデアリマシテ、政府トシテハ此ノ問題ニ付テ焦慮シテ居ル譯デアリマス、隨テ此ノ公債政策ト云フモノト睨合ハシテ買收スル限度ヲ決メナケレバナラス、斯ウ云フコトデアリマス、今回モモツト多ク買收シタイト云フヤウナ氣持デ始メタノデアリマスケレドモ、今申上ゲマスヤウナ公債政策ト睨合ハシタ上デ、一番急ヲ要スル、斯ウ思フ程度デ此ノ四鐵道デ止メタト云フヤウナ次第デアリマス、手代木君ノ御考ハ御尤ダト存ジマシガ、政府ノ考ヘ方ハ今ノヤウナ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○星島委員長 先程松浦君ノ御質問ノ途中デ地方局長ヲ呼ビマシテ、今見エマシタカラ松浦君御質問ヲ願ヒマス

○松浦(周)委員 內務省ノ地方局長ニ一寸御尋ネシタイト思ヒマス、只今此處ニ提案サレテ居リマスル留萌鐵道、新潟臨港鐵道ノ買收ニ關スル件デアリマスガ、鐵道省ノ方デハ北海道ノ生産擴充ニ對スル正シキ認識ノ下ニ、斯ル鐵道マデ買收シテ、生産ノ擴充ヲシテ國家ニ貢獻シタイト云フ氣持デオヤリニナツテ居ルガ、內務省ノ方ノ港灣行政ト睨合ハセテ見マス、現在ノ留萌港ノ力ハ一年百五十萬「トン」乃至百六十萬「トン」デ、是デモ狹隘ヲ感ズルヤウナ狀態デアリマスガ、鐵道ノ方ノ御考ヘハ、漸増的ニ荷物ハ此處ニ向ツテ來ル、ソレデ此ノ生産擴充ヲシナケレバナラス、其ノ數字ヲ

御聽キシタイト思ヒマシタガ、是ハ軍機ニモ關係スルモノデアルカラ發表出來ヌト思ハレルガ、此ノ短イ鐵道ヲ二百八十萬圓出シテ買フト云フ鐵道省ノ御考ヘハ、相當ノ荷物ガ其處ニ漸増的ニ來ルト云フ御考ヘデ進ンデ居ラレル、然ルニ內務省ノ港灣行政ハ、斯様ニ荷物ヲ持ツテ來ル手段ガ出來テモ、之ヲ吞吐スル所ノ喉口ガ狭クテハ何ニモナラスト思フガ、之ニ對シテドウ云フ御計畫ヲ持ツテ居ラレルカ、之ヲ先ヅ端的ニ御尋ネシタイト思ヒマス

○留岡政府委員 只今ノ御尋ネニ御答ヘ致シマス、御承知カトモ存ジマスガ、留萌港ハ技術上ノ點ニ付キマシテ十分鍊ラナケレバナラス點モアラウカト思ヒマス、又財政上ノ點カラモ固ヨリ相談シナケレバナリマセヌ、併シナガラ仰セノ如ク同地方ニ於キマスル資源等カラ考ヘマシテモ、相當重要ナル港灣ヲ吾々ハ考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテハ、本年並ニ明年港灣ノ浚渫費ガ計上サレテ居ル等デアリマス、將來此ノ港ノ物資ノ輸送狀況ニ鑑ミテノ港ノ擴張ハ、技術上ノ點モ十分考慮致シマシテ、又財政上ノ點モ固ヨリ考慮致シマシテ、サウシテ擴張シテ物資ガ十分輸送出來マスルヤウニ致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマヌ

○松浦(周)委員 技術上ノ點、財政上ノ點デ十分ニナスコトガ出來ナイト仰セデアリマスガ、技術上ノドウ云フ點ニ缺陷ガアルカ、或ハ現在マデ「プラン」ヲ變更シテ他ノ方法デ進メラレルカ、今技術上考慮スル點ガアルト地方局長ガ仰セラレル以上確信ガアラレマセウ、技術上「ド」點ガ今マデ惡カツタカラ斯ウ云フ風ニ改良スルトカ、斯

ウシテ行クトカ云フコトガハツキリ分ツテ居ルノデアリマセウ、ハツキリ分ツテ居ルガ故ニ今年三十萬圓デモ浚渫費ヲ見ラレタノデアラウ、之ニ對シテ僅カ三十萬圓位ノ金ヲ掛ケテヤツタノデハ、鐵道省ノ方ノ考ヘトハ非常ナ食違ヒガアル、此處ヲドウ云フ風ニヤツテ行カレルカト云フコトヲ、ハツキリ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○留岡政府委員 技術上ト申シマシタノハ、私詳シイコトハ分リマセヌガ、御承知ノ通り「ア」港ハ「オホーツク」海ニ面シテ居ツテ、大防波堤ヲ造ルカ、港灣ヲ内ニ掘ルカト云フコトモ多年研究サレタ問題デアラウト思フノデアリマス、サウ云フ意味ヲ言ツタノデアリマス、今具體的ニドウ斯ウト云フコトヲ申上ゲタ意味デハゴザイマセヌノデ、ドウカ御諒承願ヒマス

○松浦(周)委員 サウスルト防波堤ヲ造ルカ、内ニ掘ルカト云フコトハ決定シテ居リマセヌカ、其ノ方針ハ如何デアリマスカ

○留岡政府委員 其ノ方針ニ付キマシテハ浚渫費ダケヲ決定サレテ、今提案サレテ居ルノデアリマス、將來ノ確定的ナコトハ今申兼ネマス

○松浦(周)委員 內務省ノ港灣行政ト云フモノニ對シマシテ、私ハ生産擴充ト實ニ懸離レタ考ヘヲ常ニ持ツテ居ラレルコトヲ遺憾ニ存ジマス、今日日本ハ戰爭ヲシテ居ル、資材ハ澤山要ル、其ノ資材ヲ得ル爲ニ凡ユル方策ヲ講ジナケレバナラス、併シソレハ外國カラ買ツテ來ルコトハ出來ナイ、ドウシテモ自給的ニヤツテ行カナケレバナラス、支那、滿洲カラ此ノ足ラヌ資材ヲ入レルコトガ出來ルカドウカト云フコトハ議論ノ餘地ガアリマセヌ、然ラバ日本ノ脊髓山脈

ニドレダケノ石炭ノ埋藏量ガアルカ、或ハ北九州ノ炭田ノ狀況ハドウデアアルカ、今日石炭採掘ノ上ニ於テ北海道ノ方ノ生産「コスト」、或ハ其ノ他ノ生産「コスト」ノコトガ、昨日モ豫算委員會デ問題ニナツテ居リマシタガ、九州其ノ他ノ炭田ニ於テハ悉ク生産「コスト」ヲ割ツテ居ルガ、北海道ハ比較的割ツテ居ラヌト云フコトハ何ヲ物語ルデアラウカ、ソレハ言ハズト知レタ炭ノ埋藏量ガ多イカラデアリマス、隨ヒマシテ皆相當大キナ炭層ニ打突カツテ居ル、九州ニ私ハ昨行キマシテ地下三千尺マデ入ツテ見マシタガ、是ハ三井ノ礦山デアリマシテ、一尺四寸ノ炭ヲ掘ツテ居マスガ、ソレニ比ベルト北海道ノ方ハ八尺モ十尺モノ炭層ニ入ツテ掘ルノデスカラ、生産「コスト」ガ違フノハ當然デアリマス、是ハ獨リ石炭バカリデアリマセヌ、私ハ北海道ノ住民デアリマスガ故ニ、茲ニ北海道ノコトヲ議論スルコトハ甚ダ殘念デアリマスガ、サウデナシニ、東亞共榮圈ヲ確立スル上カラシテ、全日本カラ資材ヲ求メルトスレバ何處カラ求メルカ、北海道ヨリ外ニ求メル所ハナイ、此

ノ重要ナル資源ヲ取ルコトハ、戰費ヲ調達スル積リデ、サウシテ北海道ノ重工業ヲ發達サセナケレバナラス、サウ云フ觀念デナケレバナラスト思フ、ソレニ技術上ドウダトカ、財政上ドウダトカ言ツテ遡巡シテ居ル、此ノ實ニ姑息ナ考ヘヲ持ツテ進ンデ居ラレルコトハ甚ダ遺憾デアルト思ヒマス、技術上ノ問題ニ付キマシテハ、內務省ニハ幾多ノ港灣技術ニ對スル者ガ居ルデアリマセウ、既ニ掘込ダ方宜イカ、或ハ防波堤ヲ築イタ方宜イカハ決定サレテ居ルガ故ニ、第一年ノ豫算ヲ組ンデ居ルノデアリ

マセウ、サウ云フコトガ分ツテ居ルニ拘ラズ、此處で發表セラレナイデ、サウシテ都合ノ好イヤウニ手先デヤツテ行カウト云フ考ヘラツテ居ルコトハ、今日ノ生産擴充ノ上ニ「ブレーキ」ニナルモノダト思フ、獨リ石炭方面バカリデハアリマセヌ、金、銀、銅、「クロム」、凡ニ地下資源ニ於テ日本ノ寶庫ダト言ハレテ居ル、之ヲ開發スルニハ先ヅ喉口ヲ開ケナケレバナラヌ、喉口ヲ開ケルコトニ依ツテ初メテ開拓サレノデアリマスガ、二番目ノ鐵路ノ輸送ニ任ズル鐵道省ガ此處マデ踏込デ居ルニ拘ラズ、内務省ガ喉口ヲ閉メテ居ル、是デ果シテ北海道ノ産業擴充ニナルカドウカ、之ニ對スル地方局長ノ信念ヲ伺ヒマス

○留岡政府委員 只今ノハ前段で申上ゲマシタ通り、北海道ニ於キマシテノ資源ハ能ク承知シテ居ル積リデアリマス、又留萌ヲ中心ニ致シテ色々ノ資源ガアルコトモ承知シテ居リマス、殊ニ又軍需工業等モ同方面デ勃興シツツアルコトモ能ク承知シテ居リマス、其ノ必要性ヲ私ハ否認シテ居ルノデハアリマセヌ、十分其ノ精神ニ於テハ御同感デアリマシテ、努力スル積リデアリマシタガ、唯今附言的ニ申述ベタノハ、マダ私ハ浚渫費以外ノ豫算ハ聽イテ居リマセヌ、又ソレ以外ハ出テ居ラス管デアリマス、ソレ等ヲ睨合セテ努力致シタイト云フコトヲ申上ゲタニ過ギヌノデアリマス、御諒承願ヒマス

○松浦(周)委員 然ラバモウ一段御伺ヒ致シマス、内務省ニ於キマシテハ斯様ナコトヲ同感ト仰セラレ以上、北海道ノ認識、殊ニ留岡地方局長ニ於キマシテハ、北海道ニ數年居ラレマシテ、能ク御存ジダト思ヒマ

ス、今北海道ガ豫算編成ノ場合ニ、道廳デ色々ナ案ヲ立テテ持ツテ來ル、先ヅ内務省デ之ニ對スル色々ナ非難ヲ受ケマシテ、大體豫算ノ何割ト云フコトデ削ラレテ、ヤルコトガ出來ナイ、本當ニ北海道ノ生産擴充ヲナス爲ニ、北海道ガ此ノ時局ニ對シ國家ニ御奉公スル爲ニ、北海道ノ地下資源ヲ有用ニ使ツテ實ヒタイト云フ考ヘデ持ツテ來タモノヲ、先ヅ何割ニシヨウト云フノデ削ラレテシマフト云フヤウナコトハ、從來ドノ府縣ニモヤツテ居ラレ、詰リ全國一元ニ眺メタ行キ方デ、一ツノ率ノ下ニ豫算ヲ切下ゲテシマフト云フヤウナ考ヘラツテ居ラレガ、今色々ノ意見ヲ聽クト、モウ北海道ハ内地他府縣並ニヤツテモ宜イト云フヤウナコトヲ言フ人モアル、私ハ認識不足モ甚ダシイト思フ、六千方里ノ中ニ僅カ三百二十万ノ人口デアル、其ノ六千方里ノ中ニドレダケノ資源ガアルカト云フコトハ今言フ必要ハナイ、森林ノ資源一ツ見マシテモ二十三億、日本ノ森林資源ノ四分ノ一ヲ持ツテ居ル、又礦物ニ於キマシテモ同様デアル、水産ニ於キマシテモ世界三大漁場ノ一ツヲ持ツテ居ル、サウ云フ所ニ僅カ三百万人シカ居ナイ、ソレノ經費ヲ計上スルノニ人口稠密ナ内地ト同ジヤウニ竝ベテ、同ジ率デ切下ゲテ行クナドト云フコトハ、私ハ甚ダ認識不足ダト思フ、之ニ對シテ留萌ノ問題デ浚渫費ヲ見タト云フコトデアリマスガ、鐵道省ノ北海道開發ニ對スル認識カラ、斯様ナ鐵道マデ買収シテ、國營マデヤツテ行カウト云フ考ヘト一致ノ步調ヲ取ルナラバ、來年度カラ相當ナコトヲシナケレバナラスト思フガ、之ニ對スル御考ヘハ如何デアリマスカ、一方鐵道ノ方デハ此ノ僅カ

ノ鐵道ノ爲ニ國費二百八十万圓ヲ投ジテ居ル、將來ハ此ノ留萌ノ鐵道カラ更ニ全體ヲ眺メルナラバ、相當ナ經費ヲ投ズルコトニナリマセウ、然ルニ内務省ガソレダケノ國費ノ喉口ヲ閉メテシマフト云フノハ甚ダイケナイコトデハナイカ、ソレナラバ來年度カラドウ云フヤウニヤツテ行ク考ヘデアルカト云フコトヲ御尋ネシタイ、今案ガ立ツテ居ラスト云フナラバ、來年度カラト云フコトニナルノデアリマセウガ、少クトモ此ノ留萌港ノ將來ニ對シテ、私ハ地方局長ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○留岡政府委員 將來ノ留萌港ニ付キマシテハ、今仰セノ通り來年度カラドウト云フコトハ確言ハ出來マセヌ、御趣旨ハ十分諒トスルノデアリマシテ、來ルベキ豫算ノ時ニ、道廳當局トモ相談致シマシテ努力致シタイト思ヒマス

○星島委員長 東條君ノ最初ノ御要求デアリマス鑛產局長ト管船局長……管船局長ハ今他ノ分科會ニ出席中デアリ、鑛產局長ハ痛氣デ出席ガ出來ナイサウデアリマス、是ハ明日ニ讓ル外ナイト思ヒマス

○東條委員 時間モナイヤウデスカラ、明日ニ讓リマス

○星島委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午前十一時五十七分散會

昭和十六年一月三十日印刷

昭和十六年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局